

## 2. 学校教育計画

### 4年間の目標と主な方策（平成28年～平成31年）

	視点	中期目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の確かな学力の定着と学習意欲の向上につながる組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②国際教育を推進し、多様な価値観を受容する力を育む。</p> <p>③生徒会活動・学校行事等の活性化に取り組み、自己有用感やリーダーシップを育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニング型授業について研修を積み重ね、生徒が主体的に活動する授業を実践する。</li> <li>・総合的な学習の時間や LHR を活用し、外部の教育力も導入し、国際教育の充実を図る。</li> <li>・生徒の自主性を伸ばす LHR、生徒会・学校行事等のあり方を意識し、学校全体で取り組む。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒とのコミュニケーションの充実を図り、きめ細かく粘り強い生活指導・生徒支援を組織的に行う。</p> <p>②部活動の活性化に取り組み、責任感や自己肯定感を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒観察や面談、授業担当者との情報交換、保護者や必要に応じて SC や SSW との連携をしながら、丁寧な生徒指導・支援を行う。</li> <li>・部活への加入率を上げるための取組を行うとともに、部活動生徒の活躍の場を増やす。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<p>①多様な進路希望の生徒に細かく対応するため、3年間の系統的な進路支援体制を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路行事の内容の充実を図り、多様な進路希望に適切に対応する。</li> <li>・進路情報の収集と整理、職員や生徒への還元を確実にを行う。</li> </ul>
4	地域等との協働	<p>①地域に開かれた学校、地域から信頼される学校をめざし、地域との連携・交流を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の交流に加え、防災の視点での協働は重要であり、地域での防災訓練等、本校生徒や職員が一部でも参加できる事業について連携を行う。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安全で安心して生活することができる教育環境の管理に努める。</p> <p>②生徒と向き合う時間を確保するため、一層の組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>③事故・不祥事の防止を徹底する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育や防災訓練、備蓄食料等の整備を通じて、防災意識を高め、学校としての災害対応力を高める他、安全な教育環境を維持する。</li> <li>・企画会議の有機的な活用やグループ間の連携、各種会議の効率的な運用を図る。</li> <li>・事故防止会議や声掛けにより事故不祥事を防止する。</li> </ul>